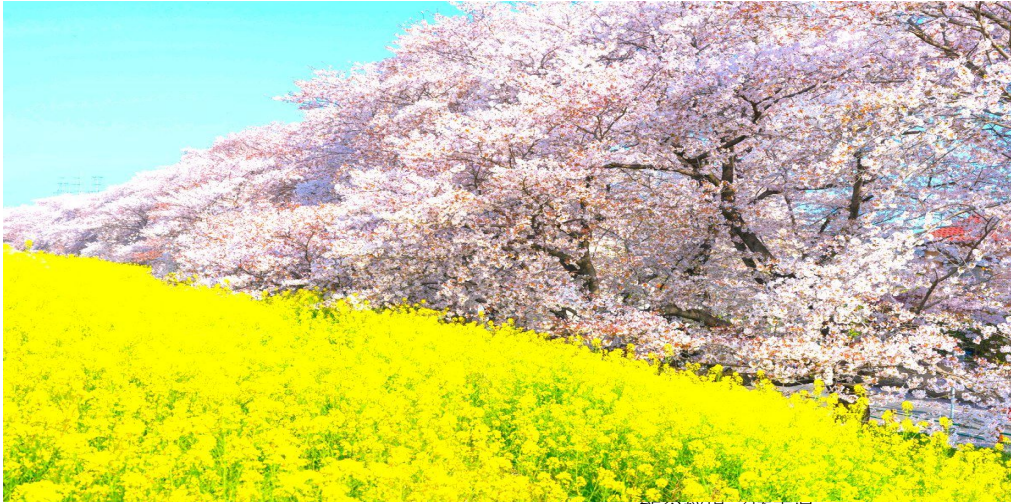


## 令和6年 3月 15日（金） 安全大会



熊谷桜堤／埼玉県

### ・本日の議題

- ①工事の現況と今後の予定（専務）
- ②各現場状況報告（又は問題点）
- ③その他

荒川の土手沿い2kmにわたって約500本のソメイヨシノが咲く、江戸時代からの桜の名所

（注）安全大会の時刻は18：00(集合次第)～19：00とします。

その後は、自由参加としますので適時解散してください。

### 議題①：工事の現況と今後の予定

お疲れ様です。数日前から日中や夜の寒さも和らぎ、春を感じさせる気候になってきました。各作業所での作業も少し体が楽になってきたかと思えます。

現状の受注状況としては、施工中の物件につづき5月連休明けより中規模物件を複数頂くことができ、その後6月以降に大型物件が続いて控えている状況です。

また、内定案件に関して9月と11月にそれぞれ中・大型物件の案件内定を頂いています。

その他の時期に施工できる物件や、協力業者さんに施工して頂く物件等、引き続き関係先と協議を進めていきます。

ここ数年の動向ですが、我々解体業界も物件獲得の競争が激化しており、新規や地方業者が首都圏へ数を増やしており、その同業他社も当社同様に、またはそれ以上のパフォーマンスをこなす業者が増えていると感じます。

そして工事等で過失のある災害事故が一度発生すると、予定案件の失注や取引先からの信頼を失い今後の物件獲得に大きな影響を及ぼします。

日々現場をこなしてただいてる皆さんには、今後も無事故無災害を基本とした管理整頓が行き届いた現場を継続していただきますようお願い致します。

## ※ 当社としての基本的心得 ※

1. ヘルメット・ハーネス・安全靴等作業に適した**保護具適正使用の徹底**に努める「基本は毎日習慣に」
2. 場内の重機作業エリアとの**区画整備・安全通路区画整備の徹底**に努める「重機接触は即死亡災害」
3. 場内及び現場周辺道路等の**清掃を定期的に行い美化**に努める「きれいな現場では事故は起きない」
4. 壁倒し後のガラ受けや**犬走の掃除**を毎度忘れずに「そのまま嘸んだら足場や近隣様所有物を破損してし
5. **現場内無線連携**(段取り・合図・居場所確認)の確立化を徹底する「見えないところも見える」
6. 高所作業時**ハーネスの2丁掛**の意味についてももう一度考えてみよう「掛替時に災害に隙を与えない」
7. 直近上位や元請様に**年齢関係なく親切丁寧な会話**を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
8. 近隣の方々へ日頃我々の仕事のために騒音振動など迷惑を掛けているという意識を持ち、**挨拶や清掃で気持ちを返す**「気持ちは伝わる」
9. **重機配管カパー**は全部取付できているか? 「今一度確認!」※破裂 → 車、家等付着 → 清掃処置(損失大)
10. 解体工事を行う上で**必要設備資機材**はきちんと揃っているか? 「足りなければ手配連絡を!」
11. **熱中症に向けて意識**を高めよう「対策や有事の対応をおさらいしよう!」
12. 有事(災害や事故)や協議事項等の**事案が発生した場合は必ず会社へ連絡**する! 「本部にお客先か連絡が着て知ったのでは遅い! =印象が大変悪い!」
13. 2月の玉掛ワイヤーの点検職は... **青** です。 3月22日(金) 一斉点検

点検職の順序...



以上を基本的考えとして日々安全現場を構築していきましょう

## ご安全に

②現状の作業工程等、気がついた事を報告してください。

## 4-1

# 安全運転の心得

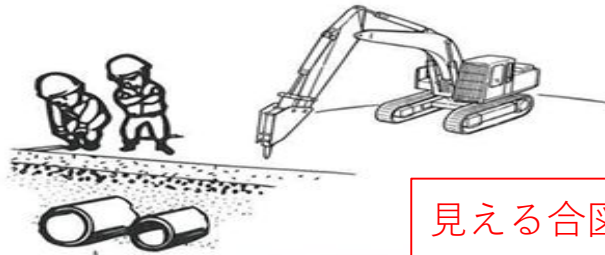
安全運転に必要な心得は、次の通りである。

1. 作業内容に適した安全用具を使用し、身体に合った服装で運転する。
2. 作業開始前点検を必ず行う。



**注意!** 異常があれば修理してから運転する。

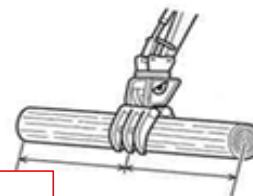
3. 油等の汚れた手で運転しない。
4. 運転席への乗降は、必ず機械に向かった姿勢で、手すりやステップを利用する。
5. 作業箇所・路肩のり肩等で、転落・転倒の危険がある場所で作業を行う時は、誘導者を配置する。
6. 解体作業等の振動による機械足元の崩壊に注意する。特に機械足元の破砕作業は、機械の安定を常に考える。
7. 破砕作業では、土砂や岩石の破片等破砕物が思わぬ方向に飛散することがあるので注意する。
8. 定められた作業範囲、制限速度、作業方法を守る。
9. 「強風」「大雨」「大雪」などの悪天候時は、解体作業を行わない。  
 強風：10分間の平均風速が毎秒10m以上  
 大雨：1回の降雨量が50mm以上  
 大雪：1回の降雪量が25cm以上
10. 無理や乱暴な運転は、絶対しない。
11. 機械周囲の安全確認を必ず行う。視界が悪い場合は誘導者を配置し、誘導者の合図により運転する。
12. 電線や障害物がある場所での旋回操作は、誘導者の合図により運転する。
13. 配電線付近の解体作業現場では感電防止のため絶縁防護管を取付ける。
14. 市街地等では、埋設物の確認を必ず行い、騒音、振動、粉じんの発生防止に努める。



水道、ガス、地下ケーブル、電話線等

見える合図連携!

20. つかみ機ではバランス良くつかむ。  
 爪全体でバランス良くつかむようにし、片寄った位置でつかまないこと。

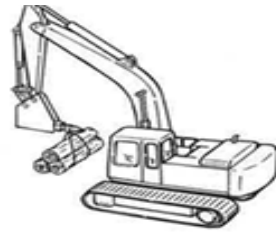


落下させても安全な旋回同線の確保!

22. アタッチメントにワイヤなどをかけ

※（て、物をつる作業を行ってはならない。）

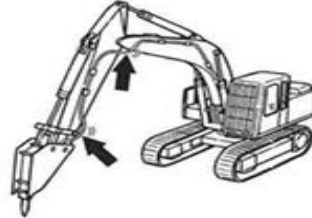
クレーン仕様機の投入！



〔アタッチメントで物をつらない〕

24. アタッチメントの油圧ホースが異常に振れている場合は、作業を中止し原因を確かめて修理する。

気づいたらすぐ中止！



〔油圧ホースの異常な振れ〕

※（25. 解体作業中は、破砕物が飛散して周辺作業者を災害に巻き込む場合があるので、その周囲を立入り禁止にする。）



〔周囲への立入り禁止〕

見える合図連携！

重機に近づかない！

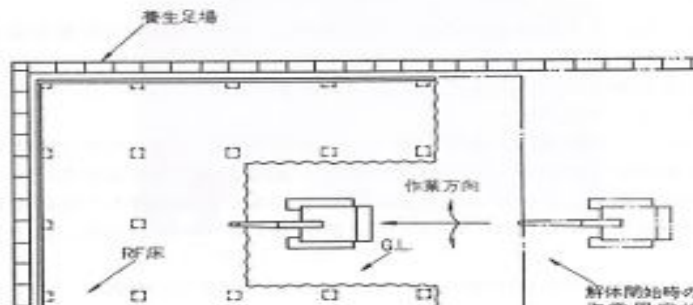
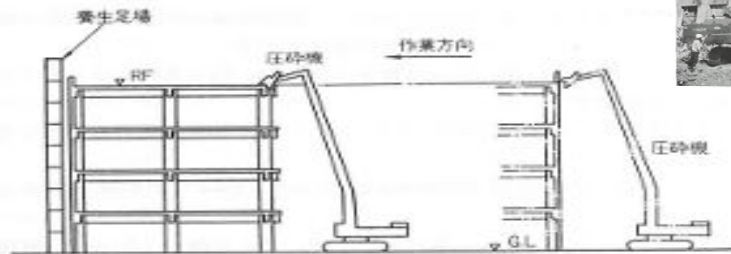




図 4-31 圧砕機による地上解体作業

### 1) 作業の工程と手順

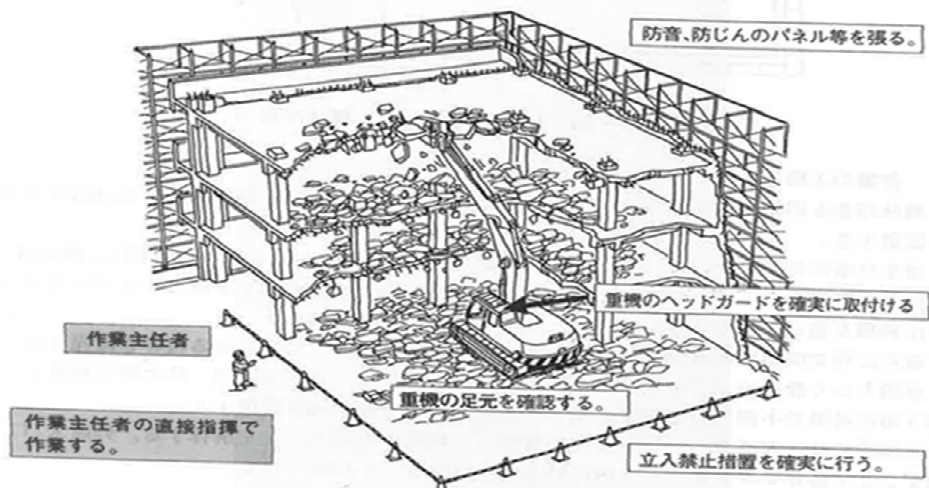
- ① 解体作業を開始する面を除き、周囲3面に養生足場を架設し、防音シート又は防音パネルを設置する。
- ② 養生足場の架設と同時に、内装を撤去する。撤去した内装材は分別して集積し、搬出する。
- ③ 高さ、部材の大きさ、作業スペース、作業半径、旋回スペース等を検討してベースマシンと圧砕機を選定し搬入する。
- ④ 最初に作業開始面の外壁を解体し、オペレータが各部材に対応できる視界を確保する。
- ⑤ 原則として数スパンごとに上階から下階に向かって、梁、スラブ、壁、柱の順で解体し、小割り用圧砕機で小割りして鉄筋とコンクリート塊を分離し適宜搬出する。
- ⑥ 全体的には、内部スパン周りを先に解体し、最後に外周スパンを解体する。外周スパンを残すことで騒音やコンクリート塊の外部への飛散などを抑制できる。

### 2) 作業上の留意点

- ① 重機の足元の安全性を確認する。地盤が軟弱な場合や、地下室の上に重機を載せる場合に

は、重機の接地圧と地盤や床・梁の強度を検討し、危険な場合には、鉄板等を敷いて接地圧を分散させたり、強力サポートによる床・梁の補強を行う。

- ② 重機をコンクリート塊を積み上げた上に載せる場合は、積み上げたコンクリート塊の勾配や締まり具合に十分注意する。  
ロングブームを装着した重機は、積み上げたコンクリート塊の上に原則として載せてはならない。
- ③ 重機のオペレータは、車輛系建設機械運転技能講習を修了した経験の豊富な者を選任する。
- ④ 重機の作業半径内や、コンクリート塊の落下物等により危険が予想される範囲内は立入禁止措置を講じる。
- ⑤ 解体作業中に発生する粉塵は散水等で飛散を防ぐ。高所での散水作業では必ず安全帯を使用する。また、散水作業員とオペレータとは、常に相手を確認できる位置関係を保つ。
- ⑥ 外部養生足場と解体構築物外壁との距離は、外壁や外柱の圧砕作業が可能だけの逃げ寸法(300~500mm)を確保する。
- ⑦ 足場の壁つなぎは外壁解体の直前に撤去し、外壁解体終了後直ちに足場の自立部分を撤去する。外壁を解体する場合は、足場撤去作業者と連絡を密に取りながら行う。
- ⑧ 下階に水平養生棚やしのびがえし等が設置してあることを確認して圧砕を行う。
- ⑨ 外壁を2階分以上残す場合は、同時に控え壁を残すからーメンの形で残す等、安定した形状にしておく。
- ⑩ ロングブームは低所の解体作業には不向きなので、低所では標準ブームを併用する。





## ～ 5 S の定義と目的～

### 5 S の定義

- (1)整理: 不必要なものを除去する技術。
- (2)整頓: 必要なものを必要なときに、使える状態にしておく技術。
- (3)清掃: 必要なものや場所をキレイに掃除し、ゴミ、ヨゴレのないようにする 技術。
- (4)清潔: 整理、整頓、清掃を維持していく技術。
- (5)躰（しつけ）: 決められた事をいつも守る習慣をつける技術

### 5Sを徹底すると何が良くなるか！

気がつかなかった、分かっているけど直せなかった以下の問題がなくなる

- ①微欠陥
- ②慢性不良
- ③非効率(探す時間など)

### 手段として

徹底した実地

徹底する場合

人の対策なら工数(人×時間)が必要。

### ※微欠陥について

- ①通常、気が付かなかった、または、分かっているけど小さすぎて見逃してしまった欠陥。
- ②一つ一つの欠陥は目立たないが、数が多くなると相互作用で生産性に影響を及ぼすもの。